

早出幼稚園 令和2年度 学校評価結果

令和3年3月29日 早出幼稚園 学校関係者評価委員会

1. 2年度当初に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した重点項目

- (1) 園庭内の排水管の整備による園庭の環境整備及び屋上防水シートの改善
- (2) 迅速に簡潔に伝えるべきお知らせは、連絡アプリを活用する
- (3) 保護者にその活動に主体的に参加してもらう場を増やし、より多くの子どもにふれることで、視野を広げ受容的な考え方を見つけてもらう

2...取り組み

- (1) 新型コロナの感染予防対策のために4月～5月中旬の間に休園した際に園庭の整備、年少トイレの改修を行う。防水に関しても修繕をしたが大雨により再度別の箇所に課題が生じたため次年度は大規模修繕を行う予定
- (2) 持ち物や園の活動の急な変更などはアプリを使って迅速に伝えた
忘れ物が多い家庭にはあらかじめ伝えるなどの連絡にもアプリを利用した
- (3) 新型コロナの感染拡大により行事が減少したが、感染対策をして子どもの姿が伝わる行事は出来る限り実施をした。PTA活動において、役員の保護者が主体となって行事を計画し実践をしてくれたことや森林組合主催の積み木の活動に保護者の参加希望者を募る等保護者が子どもとかわれる機会をつくる
保護者自身の主体的な取り組みを促すために今後も機会を多くつくる必要がある

3. 関係者評価委員会での意見

- (1) 気候変動による大雨等の機会が増えたため、屋上防水の全面改修は急ぐべき。
- (2) 連絡アプリの利用がすすみ迅速な伝達がなされた。これまでのクラスだよりも発行されており園の様子がよくわかる。
- (3) コロナ禍ではあるが、出来る限りの対応はできていた。教育要領にある「目指す10の姿」について保護者理解が進むように対応を考えるべき。

4. 今後取り組むべき課題と対策

課 題	対 策
(1)環境整備	北園舎屋上防水により環境改善を図る。
(2)預かり保育において、年少児の利用が増えてきたため、安全管理を徹底すべき	利用人数に合わせて、補助の先生を入れているが、園に慣れてくると年少児だけで園舎内を歩き勝手に他教室へ行く姿も見られるため場合によっては補助員を増やすことを心がける。
(3)教育要領にある「目指す10の姿」について保護者理解が進むように対応を考える。	クラスだよりや園だよりにおいて教育の「ねらい」を示す際に、「目指す10の姿」を意識して伝える。